

別 紙

日建連表彰 2022 受賞一覧

The Winners of the JFCC Award 2022

第 3 回土木賞【12 件】 / 第 63 回 BCS 賞【15 件】

相鉄東急直通線 新横浜駅地下鉄交差点土木工事

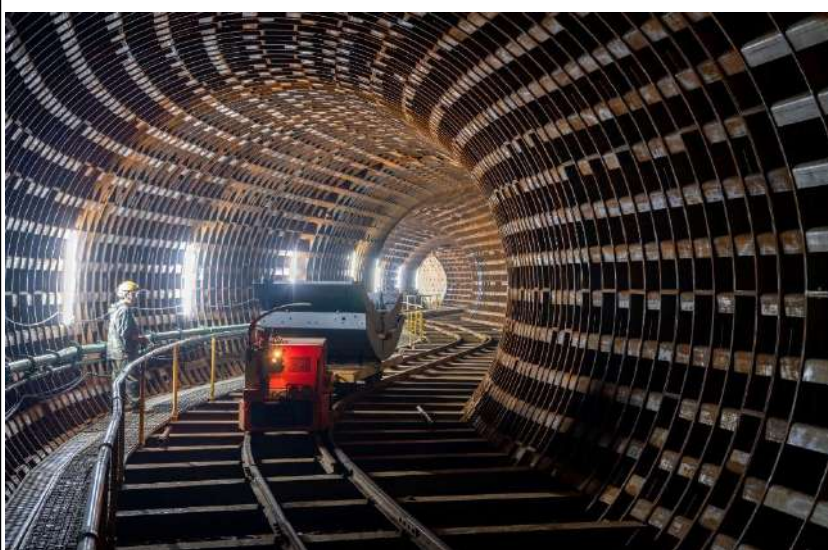


所在地 神奈川県横浜市
 竣工日 2022年1月31日
 発注者 鉄道建設・運輸施設整備支援機構
 横浜市交通局
 設計者 八千代エンジニアリング
 日本交通技術
 施工者 鹿島・鉄建・不動テトラ・NB建設JV
 関係者 オックスジャッキ
 東亜利根ボーリング
 協拓建設
 ケミカルグラウト
 寺尾運輸興業
 新光工業
 タイヨー建設
 高幸建設

駅の下に駅をつくる～駅前交差点直下における大規模アンダーピニング

既存地下駅の直下に新駅を築造。工程短縮のため、土留掘削と並行して既存駅底部にアクセスするNATM導坑を掘削し、重量6800 tの既存駅舎の先行仮受けを実施。高度な変位・荷重自動制御システムによる情報化管理を導入し、躯体の健全性、営業線の安全な運行を確保して無事竣工した。

高尾川地下河川整備事業



所在地 福岡県筑紫野市
 竣工日 2020年7月30日
 発注者 福岡県
 設計者 中央コンサルタンツ
 施工者 安藤ハザマ・大豊・環境施設特定
 JV
 関係者 青山機工
 日豊建設
 ライト工業九州支店
 地中空間開発

住宅密集地を流れる河川直下での地下河川整備

高頻度で発生している高尾川床上浸水被害の対策として、用地買収を伴わないように、河川の直下に地下河川をシールド工法で構築。このため、トンネル施工は、風化花崗岩を低土被りで、全線の50%以上が連続多急曲線という厳しい条件であった。それを施工中のビット仕様変更、カッターヘッドの改良、添加材の変更等で掘進を貫通させ、河川氾濫防止を実現した。